

母性看護学・助産学分野年報 No.18

Activity Report on Department of Midwifery and Women's Health

令和元年度

2019.4-2020.3

東京大学大学院 医学系研究科 健康科学・看護学専攻
母性看護学・助産学分野

Department of Midwifery and Women's Health,
Division of Health Sciences and Nursing,
Graduate School of Medicine, The University of Tokyo

目 次

1. はじめに	1
2. 研究業績	2
(1) 原著・報告	
(2) 総説・解説など	
(3) 著書・報告書・その他	
(4) 学会発表	
(5) シンポジウム・セミナーなど	
(6) 受賞	
3. 研究活動	7
(1) 抄読会 & 研究報告会	
(2) シフラの会	
(3) 研究プロジェクト	
4. 教育活動	13
(1) 学部講義	
(2) 学部実習	
(3) 大学院講義	
(4) 大学院実習	
(5) 博士論文	
(6) 修士論文	
5. 学内外の活動	25
(1) 学内の活動・役割	
(2) 学外の活動・役割	
(3) その他(学内外における講義・講演など)	
6. 教室日誌	27
7. 教室員名簿	29

1. はじめに

令和元（2019）年度 母性看護学・助産学分野では、博士1名と修士4名が学位を取得しました。2002年6月に教室が設置されて以来の学位取得者は、通算で博士14名、修士31名となります。また2014平成26年4月から開始した修士課程での助産師教育コースでは、5期生となる修了生4名を新人助産師として送り出すことができました。現在、新型コロナウイルス感染症によって日々刻々と状況が変化しており、数か月前には想像もしていなかった事態の只中にいます。医療の最前線で、これまでに身に着けた知の力、物事を冷静に見極めて判断していく力、専門技術能力、コミュニケーション力、忍耐力等が身を守り、更なる活躍・発展につながることを心から願っております。

さらにこの4月より、当分野で修士・博士号の学位を取得され、教員としてご活躍されました足田直子先生が、獨協医科大学 助産学専攻科の講師としてご就任することになりました。これまで実習・演習、講義、研究指導をご担当されつつ、モンゴルでの研究プロジェクトも精力的に推進され、その成果をトップジャーナルで公表されるなど、研究者としてもお手本を示してくださいました。さらなるご活躍をお祈りいたします。

また1月1日に、春名が教授を拝命いたしました。これまで当分野の研究・教育の開始から継続にいたるまで、ご尽力くださいました皆様の賜物であると心より感謝申し上げます。研究・教育の現場も大きく変化しています。オンラインやリモートワーク化を推進しつつ、これまで以上に質の高い研究や効果的な学びが実施できるように、目の前の難問の一つ一つに対して、最善の解決法を見出していきたいと思っております。

4月からは新入生6名と卒論生を迎え、国内外の研究者・専門家や他領域の方々とも連携し、女性や子ども、その家族に最善のケアを届けるという変わらない使命を果たせるよう研究の推進・成果の発信、学問の構築に向けて努力を続けていきたいと思っております。今後ご指導ご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

2020年3月末日

教室主任 春名めぐみ

2. 研究業績

(1) 原著・報告

Haruna, M., Matsuzaki, M., Ota, E., Shiraishi, M., Hanada, N., & Mori, R. (2019). Guided imagery for treating hypertension in pregnancy. *The Cochrane database of systematic reviews*, 4(4), CD011337. <https://doi.org/10.1002/14651858.CD011337.pub2>

Hikita, N., Haruna, M., Matsuzaki, M., Sasagawa, E., Murata, M., Yura, A., Oidovsuren, O. (2019). Comparison of Knowledge about smoking and passive smoking and urinary cotinine levels in pregnant women and their partners in Mongolia: A cross-sectional study. *Asian / Pacific Island Nursing Journal*, 4(1):47-56.

Hikita, N., Haruna, M., Matsuzaki, M., Sasagawa, E., Murata, M., Yura, A., Oidovsuren, O. (2019). Is high maternal body mass index associated with cesarean section delivery in Mongolia? A prospective observational study. *Asian/Pacific Island Nursing Journal*, 4(3): 128-134.

Hikita, N., Haruna, M., Matsuzaki, M., Sasagawa, E., Murata, M., Yura, A., & Oidovsuren, O. (2020). Factors associated with hypertension among men in Darkhan-Uul Province, Mongolia: A cross-sectional study. *Asian/Pacific Island nursing journal*, 4(4), 151–158.

Hisa, K., Haruna, M., Hikita, N., Sasagawa, E., Yonezawa, K., Suto, M., Ota, E. (2019). Prevalence of and factors related to anemia among Japanese adult women: Secondary data analysis using health check-up database. *Scientific Reports*, 9(1), 17048. doi: 10.1038/s41598-019-52798-y.

Yonezawa, K., Haruna, M. (2019). Short-term skin problems in infants aged 0–3 months affect food allergies or atopic dermatitis until 2 years of age, among infants of the general population. *Allergy, Asthma & Clinical Immunology*, 15, 74. doi:10.1186/s13223-019-0385-7.

Yonezawa, K., Haruna, M., & Kojima, R. (2020). Validity of infant face skin assessment by parents at home. *Asian / Pacific Island Nursing Journal*, 4(4), 128-134. doi: 10.31372/20190404.1071.

Usui, Y., Haruna, M., & Shimpuku, Y. (2019). Validity and reliability of the Karitane Parenting Confidence Scale among Japanese mothers. *Nursing & Health Sciences*, doi: 10.1111/nhs.12633.

Sannomiya, M., Sasagawa, E., Yonezawa, K., Hikita, N., Haruna, M. (2019). The proportions, regulations, and training plans of male midwives worldwide: A descriptive study of 77 countries. *International Journal of Childbirth*, 9(1), doi: 10.1891/2156-5287.9.1.5.

Kita S, Haruna M, Matsuzaki M, Kamibeppu K. (2019). Does antenatal social support affect the relationships between intimate partner violence during pregnancy and perinatal mental health? *Violence Against Women*, 1077801219835052.

Kelleher, M. M., Cro, S., Cornelius, V., Axon, E., Lodrup Carlsen, K. C., Skjerven, H. O., Reh binder, E. M., Lowe, A., Dissanayake, E., Shimojo, N., Yonezawa, K., Ohya, Y., Yamamoto-Hanada, K., Morita, K., Surber, C., Cork, M., Cooke, A., Tran, L., Askie, L. M., Duley, L., Chalmers, J. R., Williams, H. C., Boyle, R. J. (2020). Skincare interventions in infants for preventing eczema and food allergy. *The Cochrane Database of Systematic Reviews*, Issue 2. Art. No.: CD013534. DOI: 10.1002/14651858.CD013534.

Rönnerhag M, Severinsson E, Haruna M, Berggren I. (2019). Risk management-Evaluation of healthcare professionals' reasoning about and understanding of maternity care. *Journal of nursing management*. 27(6):1098-1107.

笹川恵美, 春名めぐみ, 米澤かおり, 疋田直子. (2019). “Care in Normal Birth”から “Intrapartum care for a positive childbirth experience”へ:WHOの正常出産ガイドラインは、どのように変わったか? (From “Care in Normal Birth” to “Intrapartum care for a positive childbirth experience”: How was the WHO guideline on normal birth changed?) 日本助産学会誌. 33(1): 50-60.

(2) 総説・解説など

春名めぐみ. (2019). 助産ケアのスキルを広げるこれからのエコーの活用法. 助産雑誌, 73(8):655-657.

米澤かおり. (2019). 双子を育てる立場から (特集 多胎出産をした母親と家族へ必要なサポートとは). 助産雑誌, 73(12): 1029-1032.

米澤かおり. (2019). 助産師による対応の基本 (連載 赤ちゃんの皮膚トラブルとスキンケアの最新エビデンス). 臨床助産ケア, 11(6): 75-78.

米澤かおり. (2020). スキンケアのメリット・デメリット (連載 赤ちゃんの皮膚トラブルとスキンケアの最新エビデンス). 臨床助産ケア, 12(1): 56-59.

笹川恵美 監修 (2019). 看護師看護学生のためのレビューブック 2020 第21版, 母性看護学. メディックメディア

笹川恵美 監修 (2019). クエスチョン・バンク 看護師国家試験問題解説 2020 第20版. 母性看護学. メディックメディア

(3) 著書・報告書・その他

入山 茂美 (編), 春名 めぐみ (編), 大林 陽子 (編). (2019). 現代の母性看護 各論. 名古屋大学出版会.

Usui, Y., Haruna, M., Sakanashi, K., Tanaka, T., & Kitamura, T. (2019). The psychometric properties of the Maternal Antenatal Attachment Scale and the identification of a cluster of pathological maternal-foetal bonding: A study in Japanese non-clinical mothers. In T. Kitamura and Y. Ohashi, (Eds.) Perinatal bonding and bonding disorders: Causes and consequences (pp. 37-58). Newcastle upon Tyne, UK: Cambridge Scholars Publishing.

臼井由利子, 春名めぐみ, 笹川恵美, 米澤かおり, 疋田直子. 子どもへの愛着形成 (ボンディング) に出産体験が及ぼす影響. 明治安田こころの健康財団 2018 年度研究助成 論文集 (54), 73-82.

疋田直子

やずや食と健康研究所 2018 年度研究助成 研究成果報告書

「モンゴル国ダルハンオール県における公立医療機関に勤務する医療者の一日の食塩摂取量調査 -24 時間蓄尿法を用いて-」

飯村ブレット, 古宇田千恵, 笹川恵美, 新福洋子, 杉本敬子, 高橋優子, ドーリング景子, 春山怜, 日隈ふみ子, 福澤利江子 翻訳, 永井真理 翻訳協力.

WHO 推奨: ポジティブな出産体験のための分娩期ケアのためのケア変革, 要約 (2020 年).

(原版タイトル “WHO recommendations: intrapartum care for a positive childbirth experience : executive summary”) 原版ライセンス : CC BY-NC-SA 3.0 IGO© 世界保健機関

村上芽生

東京大学男女共同参画室 スペクトル-Campus Voice-執筆

2019 年 9 月 19 日

【Campus Voice】「看護学って理系？文系？ーリケジョの力を活かす看護科学！ー」

2019 年 12 月 20 日

【Campus Voice】「医学系キャリア支援のための交流会<特別回>」

2020 年 1 月 23 日

【Campus Voice】「パワーの良い・悪いは、本人の意識次第です。～人文社会系研究科 (社会心理学) 橋本 剛明 助教～」

2020 年 2 月 28 日

【Campus Voice】「目白台インターナショナル・ビレッジ見学レポート」

(4) 学会発表

横山萌莉, 米澤かおり, 中西愛海, 春名めぐみ.

乳児のおむつ皮膚炎の症状・部位・治癒するまでの期間の実態調査. 第60回日本母性衛生学会学術集会 千葉県 ヒルトン舞浜. 2019年10月11日

田島真里子, 米澤かおり, 春名めぐみ.

妊娠中の過少な体重増加に関連する要因: 文献レビュー. 第60回日本母性衛生学会学術集会 千葉県 ヒルトン舞浜. 2019年10月11日

米澤かおり, 清水咲月, 春名めぐみ.

乳児の洗浄後、保湿剤塗布による皮膚バリア機能への影響. 第60回日本母性衛生学会学術集会 千葉県 ヒルトン舞浜. 2019年10月11日

清水咲月, 米澤かおり, 春名めぐみ.

洗顔方法の違いが新生児の皮膚バリア機能の経時的変化へ与える影響. 第60回日本母性衛生学会学術集会 千葉県 ヒルトン舞浜. 2019年10月11日 (優秀演題候補)

笹川恵美, 春名めぐみ, 疋田直子, 三砂ちづる.

ブラジルからの第三国専門家を活用した、エルサルバドル国立女性病院の人的出産に関するセミナーの評価. 第34回日本国際保健医療学会学術大会 三重県 三重大学, 2019年12月7~8日

笹川恵美, 春名めぐみ, 三砂ちづる.

エルサルバドルの人的出産を担う母子保健人材育成: ブラジル第三国研修の実践報告. 第60回日本母性衛生学会学術集会 Web学会 2020年1月23日~3月31日

Maika Setoguchi, Megumi Haruna, Emi Sasagawa, Kaori Yonezawa, Naoko Hikita, Riko Inoue. Factors Related to Parenting Self-efficacy at One Month Postpartum. The 23rd East Asian Forum of Nursing Scholars (EAFONS) conference Chiang Mai, Thailand. January 10-11, 2020.

Manami Nakanishi, Kaori Yonezawa, Megumi Haruna, Emi Sasagawa, Naoko Hikita, Moeri Yokoyama.

Facial skin problems in one-month-old infants and their recovery period: an observational study. The 23rd East Asian Forum of Nursing Scholars (EAFONS) conference Chiang Mai, Thailand. January 10-11, 2020.

中西愛海, 米澤かおり, 横山萌莉, 春名めぐみ.

乳児の顔の皮膚アセスメントツールの開発. 第34回日本助産学会学術集会. インターネット学術集会. 2020年3月21~31日. (優秀演題賞候補: 会場開催中止のため優秀演題セッション中止)

春名めぐみ, 井上璃子, 瀬戸口舞嘉, 笹川恵美, 米澤かおり, 疋田直子, 臼井由利子.

初産婦の出産経験と今後の出産希望との関連：前向きコホート研究. 第34回日本助産学会学術集会. インターネット学術集会. 2020年3月21～31日. (優秀演題賞候補：会場開催中止のため優秀演題セッション中止)

米澤かおり, 清水咲月, 春名めぐみ.

生後2週間時点における皮膚常在菌叢の組成に影響を与えるケア. 第34回日本助産学会学術集会. インターネット学術集会. 2020年3月21～31日.

清水咲月, 米澤かおり, 春名めぐみ, 笹川恵美, 疋田直子.

生後2週の沐浴後の皮膚バリア機能と生後6週までの顔の皮膚トラブルとの関連：前向き観察研究. 第34回日本助産学会学術集会. インターネット学術集会. 2020年3月21～31日.

笹川恵美, 春名めぐみ, 瀬戸菜月, 三砂ちづる.

エルサルバドルにおける「科学的根拠に基づく人間的出産」導入セミナー参加者の理解度評価. 第34回日本助産学会学術集会. インターネット学術集会. 2020年3月21～31日.

宮内愛, 堀内成子, 三砂ちづる, 春名めぐみ, 笹川恵美.

エルサルバドル国立女性病院における「科学的根拠に基づく人間的出産」：実践報告. 第34回日本助産学会学術集会. インターネット学術集会. 2020年3月21～31日.

(5) シンポジウム・セミナーなど

米澤かおり, 春名めぐみ. (シンポジスト)

「助産師・保健師・看護師がアレルギー発症予防に関わる意義」シンポジウム5 アレルギーの常識が変わる 研究を通してアレルギー予防に成功した事例の紹介
小児保健協会学術集会 2019年6月22日 船堀タワー (東京)

臼井由利子.

公益財団法人 明治安田こころの健康財団 2018年度 (第54回) 研究成果報告会
2019年7月20日 ワイム貸会議室 高田馬場 (東京)

笹川恵美. (コーディネーター)

エルサルバドル国立女性病院における科学的根拠に基づいた人間的出産プロジェクト
第2回科学的根拠に基づいた人間的出産に関する第3国セミナー
2019年9月4～10日 ソフィアフェルドマン病院 (ベロオリゾンテ・ブラジル)

春名めぐみ. (シンポジスト)

働く女性の妊娠・出産・育児

第2回日本心身医学関連学会合同集会

2019年11月16日 Nakanoshima LOVE CENTRAL (大阪)

笹川恵美. (講師)

「無痛分娩とはどういう経験なのか」津田塾大学 多文化・国際協力学科設立記念事業
2019年12月17日 津田塾大学 特別教室 (東京)

(6) 受賞

Kaori Yonezawa.

JD Award (Most downloaded paper in 2018, The Journal of Dermatology)

Yonezawa, K., Haruna, M., Matsuzaki, M., Shiraishi, M., Kojima, R.

“Effects of moisturizing skincare on skin barrier function and the prevention of skin problems in 3-month-old infants: A randomized, controlled trial.”

3. 研究活動

(1) 抄読会 & 研究報告会 (毎週火曜日)

平成31年度、抄読会において紹介された文献および紹介者は以下の通りである。

前期 2019.4/9～7/16, 後期 2019.9/10～2020.3/3

月 日	担 当	内 容
4月9日	抄読会係 笹川恵美 米澤かおり	抄読会オリエンテーション 研究報告 研究報告
4月16日	横山萌莉 春名めぐみ	修論進捗 研究報告
4月23日	瀬戸 菜月 西田梨花子 田島真里子	Katri Nieminen, KlaasWijma, Sanna Johansson, Emelie K.Kinberger, Elsa-Lena Ryding, Gerhard Andersson, Lars Bernfort, Barbro Wijma. (2017). Severe fear of childbirth indicates high perinatal costs for Swedish women giving birth to their first child. Nordic Federation of Societies of Obstetrics and Gynecology, 96,438-446. (クリティーク 横山) 修士論文進捗報告 修士論文進捗報告
5月7日	西田梨花子 中野恵子 瀬戸 菜月	Su-Ying Tsai. (2018). Relationship of perceived job strain and workplace support to antenatal depressive symptoms among pregnant employees in Taiwan. <i>Women & Health</i> , 59:1,55-67. (クリティーク 田島) Chantel L.Martin, Catherine J.Vladutiu, Tarek M.Zikry, Matthew R.Grace, Anna Maria Siega-Riz. Maternal lipid levels during pregnancy and child weight status at 3years of age. (2019). <i>Pediatric Obesity</i> 14 : e12485. (クリティーク 浅井) 修士論文進捗報告
5月14日	村上芽生	Larissa G.Duncan, Michael A.Cohn, Maria T.Chao, Joseph G.Cook, Jane Riccobono, Nancy Bardacke. (2017). Benefits of preparing for childbirth with mindfulness training:a randomized controlled trial with active comparison. <i>BMC Pregnancy and Childbirth</i> , 17:140. (クリティーク 臼井)

	浅井百合絵	博士論文進捗報告
	清水咲月	博士論文進捗報告
5月21日	田中萌子	Taniguchi C, Sato C. (2016). Home-based walking during pregnancy affects mood and birth outcomes among sedentary women: A randomized controlled trial. <i>Int J Nurs Pract</i> , 22(5):420-426. (クリティーク 笹川)
	臼井由利子	博士論文進捗報告
5月28日	田島真里子	Bharati Sharma, Ingegerd Hildingsson, Eva Johansson, Kyllike Christensson. (2018). Self-assessed confidence of students on selected midwifery skills: Comparing diploma and bachelors programmes in one province of India. <i>Midwifery</i> , 67,12-17. (クリティーク 米澤)
	中野恵子	修論相談
6月4日	西原菜帆	Thompson R Kruske S, Barclay L, Linden K, Gao Y, Kildea S. (2016). Potential predictors of nipple trauma from an in-home breastfeeding programme: A cross-sectional study. <i>Women Birth</i> , 29(4):336-44. (クリティーク 春名)
	村上芽生	修論相談
6月11日	臼井由利子	母性看護・家族看護合同抄読会
	浅井百合絵	博論計画
6月18日	清水咲月	Do traditional fermented foods protect against infantile atopic Celik V, Beken B, Yazicioglu M, Ozdemir PG, Sut N. (2018). dermatitis. <i>Pediatr Allergy Immunol</i> , 23:1-7. (クリティーク 中野)
	藤原菜々子	修論相談
	田中萌子	修論相談
6月25日	比佐加奈子	Marie Mandai, Misato Kaso, Yoshimitsu Takahashi, Takeo Nakayama. (2018). Loneliness among mothers raising children under the age of 3 years and predictors with special reference to the use of SNS: a community-based cross-sectional study. <i>BMC Women's Health</i> , 18:131. (クリティーク 村上)
	西原菜帆	修論相談
	疋田直子	研究報告
	浅井百合絵	博論計画
7月2日	西田梨花子	Backhausen M, Damm P, Bendix J, Tabor A, Hegaard H. (2018). The prevalence of sick leave: Reasons and associated predictors - A survey among employed pregnant women. <i>Sex Reprod Healthc</i> , 15:54-61. (クリティーク 藤原)
	横山萌莉	修論進捗
	中野恵子	修論相談
	村上芽生	修論相談
7月9日	横山萌莉	Carmen Alonso, Isabel Larburu, Esther Bon , Mari Mar Gonzalez, Maria Teresa Iglesias, Iratxe Urreta, Jose I. Emparanza. (2013). Efficacy of petrolatum jelly for the prevention of diaper rash: A randomized clinical trial. <i>Journal for Specialists in Pediatric Nursing</i> , 18: 123-132. (クリティーク 田中)
	西田梨花子	修士論文進捗報告
	田島真里子	修士論文進捗報告
	瀬戸 菜月	修士論文進捗報告
7月16日	田島真里子	Anne Winkvist, Anne Lise Brantsaeter, Martin Brandhagen, Margaretha Haugen, Helle Margrete Meltzer, Lauren Lissner(2015). Maternal prepregnant body mass

		index and gestational weight gain are associated with initiation and duration of breastfeeding among Norwegian mothers. <i>Journal of Nutrition</i> , 145, 1263-70. (クリティーク 西原)
	清水咲月	博士論文計画
	藤原菜々子	修士論文相談
	田中萌子	修士論文相談
	西原菜帆	修士論文相談
9月10日	中野恵子	Tuck Seng Cheng, See Ling Loy, Yin Bun Cheung, Fabian Yap, et al. (2017). Plasma Vitamin D Deficiency Is Associated with Poor Sleep Quority and Night-Time Eating at Mid-Pregnancy in Singapore. <i>Nutrients</i> , 9,340. (クリティーク 西田)
	村上芽生	修論相談
	浅井百合絵	博論計画
9月17日		母性看護・家族看護合同抄読会
	西田梨花子	修士論文進捗報告
	田島真里子	修士論文進捗報告
	横山萌莉	修士論文進捗報告
	田島真里子	修士論文進捗報告 (家族看護学：村田 博論論文進捗報告)
9月24日	西原菜帆	Clive J.Petry, Ken K.Ong, Kathryn Beardsall et al. (2018). Vomiting in pregnancy is associated with a higher risk of low bairth weight: : a cohort study. <i>BMC Pregnancy and Childbirth</i> , 18:133. (クリティーク 田島)
	中野恵子	修論相談
	臼井由利子	博論進捗
10月1日	村上芽生	Ya-Wen Huang, Chich-Hsiu Hung, Mei-Chuan Huangd, Ching-Yun Y. (2018). First-time fathers' health status during the perinatal period. <i>Appl Nurs Res</i> , 40, 137-142. (クリティーク 横山)
	西原菜帆	修論相談
	清水咲月	博論計画
10月8日	田中萌子	Kumiko T. Kanatani, Takeo Nakayama, Yuichi Adachi, Kei Hamazaki et al. (2019). High Frequency of vitamin D deficiency in current pregnant Japanese women associated with UV avoidance and hypo-vitamin D diet. <i>PLOS ONE</i> . (クリティーク 臼井)
	藤原菜々子	修士論文相談
	田中萌子	修士論文相談
10月15日	藤原菜々子	Geraldine O'Sullivan, Bing liu , Darren Hart et al. (2009). Effect of food intake during labour on obstetric outcome : randomised controlled trial. <i>BMJ</i> , 338:b784. (クリティーク 浅井)
	西田梨花子	修士論文進捗報告
	横山萌莉	修士論文進捗報告
10月23日	臼井由利子	Asami Matsunaga, Fumie Takauma, Katsuhiko Tada, Toshinori Kitamura. (2017). Discrete category of mother-to-infant bonding disorder and its identification by Mother-to-Infant Bonding Scale: A study in Japanese mothers of a 1-month-old. <i>Early Human Development</i> , 111.1-5. (クリティーク 瀬戸)
	前島真里子	修士論文進捗報告

10月29日	西田梨花子 中野恵子 浅井百合絵	Brekke I, Richardsen KR, Jenum AK. (2019). Sickness absence in pregnancy and sedentary behavior: a population-based cohort study from Norway. BMC Public Health, 16;19(1):71. (クリティーク 田中) 修士論文進捗報告 博士計画計画
11月5日	前島真里子 瀬戸菜月	Tsuchiya S, Yasui M, Ohashi K. (2019). Assessing body dissatisfaction in Japanese women during the second trimester of pregnancy using a new figure rating scale. Nurs Health Sci, 21(3):367-374. (クリティーク 藤原) 修士論文進捗報告
11月12日	横山萌莉 西田梨花子	Mehmet Halil Celiksoy et al. (2019). Characteristics of persistent diaper dermatitis in children with food allergy. Pediatric Dermatology, 36:602-606. (クリティーク 西原) 修士論文進捗報告
11月19日	瀬戸菜月 田中萌子 藤原菜々子	Atefeh Vaezi, Fatemeh Soojoodi et al. (2018). The Association between social support and postpartum depression in women: A cross sectional study. Women and Birth. (クリティーク 清水) 修士論文相談 修士論文相談
11月26日	瀬戸菜月 横山萌莉 村上芽生 西原菜帆	修士論文進捗報告 修士論文進捗報告 修士論文相談 修士論文相談
12月3日	清水咲月	母性看護・家族看護合同抄読会 博論計画
12月10日	横山萌莉 前島真里子 瀬戸菜月 西田梨花子	修士論文進捗報告 修士論文進捗報告 修士論文進捗報告 修士論文進捗報告
12月17日	前島真里子 西田梨花子 瀬戸菜月 横山萌莉	修士論文進捗報告 修士論文進捗報告 修士論文進捗報告 修士論文進捗報告
12月24日	前島真里子 横山萌莉 西田梨花子 瀬戸菜月	修士論文進捗報告 修士論文進捗報告 修士論文進捗報告 修士論文進捗報告
1月6日	横山萌莉 前島真里子 瀬戸菜月 西田梨花子	修士論文進捗報告 修士論文進捗報告 修士論文進捗報告 修士論文進捗報告
1月14日	横山萌莉 西田梨花子 前島真里子 瀬戸菜月	修士論文発表練習 修士論文発表練習 修士論文発表練習 修士論文発表練習

1月21日	横山萌莉 瀬戸菜月 西田梨花子 前島真里子	修士論文発表練習 修士論文発表練習 修士論文発表練習 修士論文発表練習
1月28日	藤原菜々子 米澤かおり	修論計画 研究計画相談
2月6日	田中萌子 中野恵子 村上芽生	修論計画 修論計画 修論計画
2月10日	清水咲月 浅井百合絵	Daniel M.O' Connor, Olivia S.Jew et al. (2017). Diagnostic Accuracy of Pediatric Tele dermatology Using Parent-Submitted Photographs A Randomized Clinical Trial. JAMA Dermatol. 2017; 153(12) ; :1243-1248. (クリティーク村上) 博論計画
2月13日	浅井百合絵 清水咲月 西原菜帆	Viola Y.T.Chan, Wai-lam Lau et al. (2019). Measuring angle of progression by transperinatal Ultrasonography to predict successful instrumental and cesarean deliveries during prolonged second stage of labor. Int J Gynecol Obstet, 144(2), 192-198. (クリティーク 中野) 博論計画 修論計画
2月27日	前島真里子 横山萌莉 瀬戸菜月 田中萌子 西原菜帆 中西愛海	修士論文英語発表練習 修士論文英語発表練習 修士論文英語発表練習 修論計画 修論計画 日本助産学会予行
3月3日	田口菜々子 村上芽生 中野恵子	修論計画 修論計画 修論計画
3月3日	田口菜々子 村上芽生 中野恵子	修論計画 修論計画 修論計画

(2) シフラの会

第26回シフラの会 2019年12月16日 13:00~14:00
スキンプロッセシングの基本と研究応用
講師：峰松 健夫先生

(3) 研究プロジェクト

春名めぐみ.
働き方と健康に関する調査
2018年6月~2019年9月 東京大学と株式会社三菱総合研究所との共同研究

春名めぐみ, 笹川恵美, 米澤かおり, 疋田直子.

助産師外来・院内助産ケアと妊娠・出産アウトカムとの関連：大規模観察研究
2018年度～2019年度 日本助産学会奨励研究助成

春名めぐみ, 佐々木敏, 松崎政代, 白石三恵, 藤田愛, 末次美子, 疋田直子.

妊娠各期の至適体重増加とそれに関連する健康行動・心理社会的要因：コホート研究
2019年度～2021年度 基盤研究 (B)

春名めぐみ, 笹川恵美, 米澤かおり.

妊婦の概日リズムや食事時間のパターンと栄養代謝との関連の解明
2019年度～2021年度 挑戦的研究 (萌芽)

笹川恵美, 春名めぐみ, 西田梨花子.

就労妊婦のマイナートラブルに関する要因探索と労働生産性へ及ぼす影響の実態把握
2019年度～2020年度 日本助産学会研究助成 (若手研究)

笹川恵美.

エルサルバドル国立女性病院における科学的根拠に基づいた人間的出産プロジェクト
2016年度第1回 JICA 草の根技術協力事業 (パートナー型)
2017年12月～2022年12月

笹川恵美.

エルサルバドルのパイロット病院5施設における人間的出産モデルの構築と効果の検証
文部科学省科学研究費 若手研究 2018年度～2022年度

笹川恵美. (作業部会 構成員)

令和元年 厚生労働省 インドにおける保健医療や看護に係る制度等に関する調査事業

米澤かおり.

乳児の健康な皮膚バリア機能発達と皮膚常在菌叢形成に対するスキンケアの効果検討
文部科学省科学研究費 若手研究 B 2017年度～2019年度

疋田直子.

モンゴル国妊婦の受動喫煙の実態把握と受動喫煙評価方法の構築
2017年度～2018年度 科学研究費補助金 研究活動スタート支援

疋田直子.

モンゴル国ダルハンオール県における公立医療機関に勤務する医療者の一日の食塩摂取量調査—24時間蓄尿法を用いて—
2018年12月～2019年11月 やずや食と健康助成研究

正田直子.

モンゴル国妊婦の喫煙・受動喫煙が周産期アウトカムに与える影響
2019年度～2022年度 科学研究費補助金（若手研究）

臼井由利子, 春名めぐみ, 笹川恵美, 米澤かおり, 正田直子, 瀬戸口舞嘉.

子どもへの愛着形成(ボンディング)に出産体験が及ぼす影響—出産恐怖感尺度(W-DEQ
日本語版)を用いた出産体験とボンディング障害との関連—
第54回(2018年度)公益財団法人明治安田こころの健康財団 研究助成
2018年7月～2019年7月

米澤かおり, 春名めぐみ.

育児支援の場面で活用できる新生児皮膚トラブルアセスメント尺度の開発と信頼性・妥当性検証
2018年度～2019年度 日本助産学会研究助成（若手研究）

横山萌莉.

乳児皮膚アセスメントツールの予測妥当性の検証 —アトピー性皮膚炎の発症を予測
できるか?—
第28回(2019年度)公益財団法人木村看護教育振興財団 看護研究助成

浅井百合絵.

産後女性における骨盤底障害のケアツールの開発と普及
2019年度～2021年3月 公益信託山路ふみ子専門看護教育研究助成基金

4. 教育活動

(1) 学部講義

1) 母性看護学 3年後期 I-1・2

目的：人間のライフサイクルの中で生殖に関与する期間のうち，妊娠，分娩，産褥各期を中心に，その基礎と健康問題のアセスメント及び看護の計画，実施，評価法を学習する。

参考書：系統看護学講座 専門24・25 母性看護学概論・各論〔1〕〔2〕 医学書院
現代の母性看護 概論 名古屋大学出版会

講義スケジュール

日程	時間	講義題目	担当
9月26日(木)	8:30～12:10	母性看護概論・妊娠期の看護	春名
10月1日(火)	16:50～18:35	分娩期の経過(正常・異常)・産褥期の異常	永松
10月3日(木)	8:30～12:10	分娩期の看護	関口

10月10日(木)	8:30~12:10	施設内分娩における助産師の役割	今井
10月17日(木)	8:30~12:10	新生児(正常・ハイリスク)の看護	岡本
10月24日(木)	10:25~12:10	産褥期の経過と看護	米澤
10月24日(木)	13:00~16:40	自然出産と助産師の仕事	三宅
10月31日(木)	8:30~10:15	妊産褥婦, 新生児の事例展開	笹川
10月31日(木)	10:25~12:10	試験	米澤
12月20日(金)	10:25~16:40	演習	春名・笹川・米澤

非常勤講師: 永松健 東京大学医学部附属病院 女性診療科・産科 准教授
 関口恵理子 東京大学医学部附属病院女性診療科・産科病棟主任副看護師長
 岡本行江 埼玉医科大学総合医療センター総合周産期母子医療センター
 NICU 副看護師長
 今井晶子 総合母子保健センター愛育病院 看護師長
 三宅はつえ もものみ助産院 出張開業助産師 日本助産師会 元茨城県支部長

2) 健康総合科学概論

対象: 2年生(進学予定学生)

期日: 4学期 令和元年11月18日(月)

講義題目: 「妊娠・出産をめぐる社会の変化と課題」

担当: 春名めぐみ

3) 救急処置 3年生S1

講義スケジュール

日程	時間	講義題目	担当
4月16日(火)	14:55~16:40	救急医療と災害時の医療システム 救急看護・災害看護の概要	春名・寺本
5月7日(火)	13:00~18:35	救急時の観察・トリアージ 救急蘇生、AED(演習を含む)	佐藤
5月14日(火)	14:55~16:40	外傷・熱傷、急性中毒、アナフィラキシー、 熱中症	春名・笹川 米澤
5月21日(火)	14:55~18:35	外傷・熱傷、急性中毒、アナフィラキシー、 熱中症(演習) まとめ&試験	春名・笹川 米澤

4) 看護学概論Ⅰ：生きることを支える科学（総合科学：人間・環境一般）

対象：駒場1・2年生

日程	時間	講義題目	担当
5月30日（木）	16:50～18:35	いのちの誕生を支える	春名
6月20日（木）	16:50～18:35	世界の健康を支えたい	笹川

5) 看護学概論Ⅱ：社会で活躍する看護プロフェッショナル（総合科学：人間・環境一般）

対象：駒場1・2年生

日程：令和元年10月24日（木）

講義題目：女性の健康を支える

担当：疋田直子

6) 公共健康科学統合講義

対象：健康総合科学科学部生

日程：令和元年5月16日（木）

講義題目：母子の健康

担当：春名めぐみ

(2) 学部実習

1) 母性看護学実習

対象：3年生

担当：春名めぐみ，笹川恵美，米澤かおり，疋田直子

目的：妊婦，産婦，褥婦および新生児とその家族を理解し，対象に応じた看護を実践できる知識・技術を養い，態度を培う。

期間：令和2年2月10日（月）～21日（金）（1グループ2週間）

実習施設：東京大学医学部附属病院

入院棟A3階南 女性診療科・産科病棟・NICU 女性診療科・産科外来

東京北医療センター 4階西病棟

ウパウパハウス岡本助産院

実習時間：8:00～16:00（外来8:30～）

2) 生命科学実習Ⅰ（ラボメソ）

対象：3年生

担当：米澤かおり（看護学系教室担当：生理学）

目的：対象者に直接接触し、看護ケアを評価する方法論を理解、習得する。実習では、看護におけるケアとして、ポジショニング並びに血流促進ケアを取り上げ、それらの効果を評価する方法論として、客観的な手法である「機器を用いた測定方法」を学ぶ。ケアの実施ならびに測定・評価の実習を通して、人を対象とした測定における留意点と、取得したデータから科学的に結論を導く過程を経験する。

日程： 令和元年6月10日（月）～6月14日（金）
看護学系教室担当 6月10日（月）

（3）大学院講義

1) 母性看護学・助産学特論 I

目的：母性看護学・助産学分野における現在のニーズ・課題，最新の研究の動向について把握し，今後の研究課題を考察するために必要な科学的思考を身につける．
具体的には，根拠に基づく医療・看護と文献レビューの基本的な考え方および方法論について学ぶ．

方法：根拠に基づく医療・看護（Evidence-based Medicine・Nursing）と文献レビューの基本的な考え方および方法論について，演習を通して学ぶ．
非常勤講師による講義では，最新の知見・動向をもとにディスカッションを行う．

参考書：

- Higgins JPT, Green S (editors). Cochrane Handbook for Systematic Reviews of Interventions Version 5.1.0 [updated March 2011]. The Cochrane Collaboration, 2011. Available from www.cochrane-handbook.org.
- Sterne, J. A., Egger, M., & Smith, G. D. (2001). Systematic reviews in health care: investigating and dealing with publication and other biases in meta-analysis. *BMJ: British Medical Journal*, 323(7304), 101.
- Midwifery, An Executive Summary for The Lancet's Series. *Lancet*, 2014. 20;384(9948)
- Maternal Health, An Executive Summary for The Lancet's Series. *Lancet*, 2016. 29;388(10056)
- 諏訪敏幸. 看護研究者・医療研究者のための系統的文献検索概説. 近畿病院図書室協議会, 2013.

講義スケジュール

日程	時間	講義題目	担当
4月 3日（木）	13:00～16:40	オリエンテーション, EBM の基本と考え方	春名
4月 11日（木）	10:25～16:40	ライフコース疫学やエコチル・統計分析	竹内
4月 18日（木）	13:00～16:40	文献レビューの基本的な考え方・方法論	春名
5月 13日（月）	13:00～16:40	メタ解析の手法	大田
5月 20日（月）	13:30～16:40	PICO から検索、バイアスの評価の方法	大田
5月 23日（木）	13:00～16:40	助産学分野における研究課題とその動向	春名・笹川・疋田

非常勤講師： 竹内文乃 慶應義塾大学医学部 講師

大田えりか 聖路加国際大学 教授

2) 母性看護学・助産学特論Ⅱ

目的：母性看護・助産実践に関連する理論，モデルを学ぶとともに，研究計画の立案，論文作成に必要な知識・技術を身につける。具体的には，実際の研究例をもとに，研究の組み立て方，研究手法，論文作成方法等について学ぶ。さらに当分野におけるトピックスについての討論を通して，論理的な思考方法を学ぶ。

方法：論理的な文章を書くための基本的な考え方と方法論についての演習（トピックスについての討論），および非常勤講師による講義。

参考書：

- ・ Wayne C. Booth, Gregory G. Colomb, Joseph M. Williams. The Craft of Research (Chicago Guides to Writing, Editing, and Publishing) 2008.
- ・ Gary Blake, Robert W. Bly. Elements of Technical Writing (Longman; 1 版) 1993.
- ・ William Strunk Jr., E. B. White. The Elements of Style, Fourth Edition. (Longman; 4 版) 1999.
- ・ Thomas A. Lang 著、宮崎喜久子・中山健夫訳，トムラングの医学論文「執筆・出版・発表」実践ガイド，シナジー

講義スケジュール

日程	時間	講義題目	担当
9月 12日 (木)	13:00~16:40	論理的な文章を書くために 1	春名
9月 19日 (木)	13:00~16:40	Publishing ethics	米澤
9月 27日 (木)	13:00~16:40	論理的な文章を書くために 2	春名
10月 3日 (木)	13:00~16:40	海外をフィールドとした研究手法	笹川
10月 17日 (木)	13:00~16:40	助産学に関連する理論とその応用	春名
2月 6日 (木)	10:25~12:10	文献レビューの方法	米澤
3月 13日 (金)	13:00~16:40	文献レビュー	春名

福井トシ子先生（日本看護協会会長）の「政策につなぐ看護学・助産学研究の課題と展望」は休講

3) 助産師教育コース（助産師教育コース課程履修者必修）

a. 助産学Ⅰ 修士課程 1 年前期

目的：助産学の基本概念および助産師の役割と責務，倫理的課題を理解し，専門的自律能力を身に付け，国内外におけるこれからの助産師の役割を考える視点を養う。さらに助産学研究の意義や今後の方向性について考察する力を養う。

参考書：

- ・助産学講座 1. 助産学概論，医学書院
- ・助産学講座 2. 母子の基礎科学，医学書院
- ・プリンシプル産科婦人科学 2. メジカルビュー社；改訂版

講義スケジュール

日程	時間	講義題目	担当
4月5日(金)	13:00~16:40	概論Ⅰ 助産学の基本的概念・理念と助産の歴史・今後の動向	春名
4月8日(月)	13:00~14:45	概論Ⅱ 助産師の役割と機能および責務	春名
※下記は7月・9月開講のM2 講義と合同			
性と生殖Ⅰ：正常月経周期・無月経・更年期ヘルスケア・子宮内膜症			
性と生殖Ⅱ：卵の成熟・精子の発生・受精・不妊症・生殖補助医療			
産科学Ⅰ：妊娠の診断・正常な妊娠経過・胎児発育・妊娠に伴う心理社会的変化			
産科学Ⅱ：妊娠期の異常・診断・治療			
産科学Ⅲ：正常分娩・産褥経過			
産科学Ⅳ：分娩期・産褥期の異常・診断・治療			

b. 助産学Ⅱ 修士課程1年前期

目的：周産期および更年期において、助産師が担う重要な相談・教育・援助活動をするための知識・技術を養う。また助産学が対象とする女性の健康増進への理解を深めるとともに、臨床課題を見つけ、科学的根拠に基づく助産ケアを考える力を養う。さらに助産ケアの有効性やその評価方法を考慮した計画立案ができる力を養う。

参考書：

- ・First, M., Spitzer, R. L., Gibbon, M. and Williams, J. B. W.: Structured Clinical Interview for DSM-IV Axis I Disorders. 高橋三郎(監修) 北村俊則, 岡野禎治(訳) 精神科診断面接マニュアル [第2版]. 日本評論社, 東京, 2010.
- ・北村俊則：だれでもできる精神科診断用構造化面接：SCID 入門, 北村メンタルヘルス研究所, 2013.
- ・北村俊則(編)：事例で読み解く周産期メンタルヘルスケアの理論：産後うつ病発症のメカニズムの理解のために. 医学書院, 東京, 2007.
- ・北村俊則：周産期メンタルヘルススタッフのための心理介入教本. 北村メンタルヘルス研究所, 2013.
- ・村上明美(編)：事例から学ぶ 産科医療補償制度と助産リスクマネジメント. 医歯薬出版, 2018.

講義スケジュール

日程	時間	講義題目	担当
6月 3日 (月)	13:00～14:45	婦人科・不妊治療看護	米澤
6月 14日 (金)	13:00～18:35	遺伝相談・不妊治療・出生前診断における助産ケア	小笹
6月 28日 (金)	13:00～16:40	最新の女性医療・疾病予防 (基礎知識)	対馬
6月 28日 (金)	16:50～18:35	最新の女性医療・疾病予防 (症例検討)	対馬
7月 1日 (金)	13:00～18:35	助産における医療安全	村上
7月 11日 (金)	13:00～16:40	地域における家族形成期の助産師の役割	春名・笹川
9月 18日 (月)	8:30～12:10	周産期メンタルヘルス (心理的援助技法)	市橋

非常勤講師：村上明美 神奈川県立保健福祉大学 教授
 対馬ルリ子 女性ライフクリニック 院長
 小笹由香 東京医科歯科大学医学部附属病院看護部 看護師長
 市橋香代 東京大学医学部附属病院

c. 助産学Ⅲ 修士課程1年前期

目的：産褥期・育児期を中心とした褥婦および新生児・乳児の健康状態をアセスメントするために、正常及びハイリスク妊産褥婦・新生児・乳児についての基礎的な知識を理解するとともに、健康状態をアセスメントし、母子や家族への適切な助産ケアについて考える。また、ケアの科学的根拠についても把握し、期待される効果について予測するとともに、改善のために必要な研究的アプローチについても考察できる力を養う。

参考書：

- ・助産学講座 6. 助産診断・技術学Ⅱ[1], 医学書院
- ・助産学講座 8. 助産診断・技術学Ⅱ[3], 医学書院
- ・プリンシプル産科婦人科学 2. メジカルビュー社; 改訂版
- ・仁志田博司. 新生児学入門, 第3版, 医学書院
- ・(編) 厚生労働科学研究 妊娠出産ガイドライン研究班, 科学的根拠に基づく快適で安全な妊娠出産のためのガイドライン2013年版(第1版), 金原出版.

講義スケジュール

日程	時間	講義題目	担当
4月 17日 (水)	13:00～16:40	正常妊産婦のアセスメントとケア	米澤
4月 25日 (木)	13:00～14:45	正常妊婦のアセスメントと指導計画	米澤
5月 8日 (水)	13:00～16:40	産褥期のアセスメントと援助技術	米澤
5月 11日 (土)	10:25～16:40	授乳期の援助	井村

5月15日(水)	13:00~16:40	産褥期・乳児期のアセスメントと援助技術	米澤
5月16日(木)	13:00~14:45	ハイリスク妊婦のアセスメントとケア	関口
6月10日(月)	13:00~16:40	周産期メンタルヘルス(心理的援助技法)1	安田
2月17日(月)	13:00~16:40	周産期メンタルヘルス(心理的援助技法)2	安田

非常勤講師： 井村真澄 日本赤十字看護大学 教授
 関口恵理子 東京大学医学部附属病院女性診療科・産科病棟 主任副看護師長
 安田貴昭 埼玉医科大学総合医療センター

d. 助産学Ⅳ 修士課程1年前期

目的：分娩期を中心とした産婦・褥婦，および胎児・新生児の健康状態を診断し，適切なケア技術を実施するための基礎的な知識・技術を学ぶ。さらに，産婦の安全，安心，快適，満足な出産の実現に向けたケアの創造と，それを実施できる知識と技術を養う。また分娩時ケアを評価・改善するために必要な方法・技術について考察する力を養う。

参考書：

- ・助産学講座 3. 母子の健康科学, 医学書院
- ・助産学講座 7. 助産診断・技術学Ⅱ[2], 医学書院
- ・助産学講座 8. 助産診断・技術学Ⅱ[3], 医学書院
- ・基礎から学ぶ産婦人科超音波診断, 東京医学社
- ・助産師のためのフィジカルイグザミネーション, 医学書院

講義スケジュール

日程	時間	講義題目	担当
5月9日(月)	13:00~16:40	分娩期アセスメント：経過の予測診断技術	笹川
6月6日(木)	8:30~10:15	分娩介助技術(1)：直接介助法・間接介助法	笹川
6月6日(木)	10:15~12:10	演習①：直接介助法・間接介助法	笹川・米澤
7月3日(水)	8:30~10:15	分娩介助技術(2)：臨地での分娩介助法	関口
7月3日(水)	10:25~14:45	演習②：分娩介助デモンストレーション	笹川・米澤
7月4日(木)	10:25~12:10	分娩介助技術(3)：異常分娩・産科処置	米澤
7月4日(木)	13:00~20:30	分娩介助技術, 演習：フリースタイル分娩	中根
7月5日(金)	14:55~18:35	分娩介助技術 演習③：超音波診断技術	中山

非常勤講師：関口恵理子 東京大学医学部附属病院 女性診療科・産科病棟 主任副看護師長
 中山敏男 東京大学医学部附属病院 女性診療科・産科
 中根直子 日本赤十字医療センター 副看護部長

e. 助産学V 修士課程1年前期

目的：妊娠・分娩・産褥期および新生児期における助産診断・援助技術について、その理論的裏付けを考えるとともに、実際に援助できる技術を身に付ける。有効な助産技術について評価・改善する方法についても考察する。さらに緊急時の対応についても学び、継続学習につなげられる力を養う。

参考書：

- ・助産学講座 4. 母子の心理・社会学, 医学書院
- ・助産学講座 5. 助産診断・技術学 I, 医学書院
- ・助産学講座 6. 助産診断・技術学 II[1], 医学書院
- ・助産学講座 7. 助産診断・技術学 II[2], 医学書院
- ・助産学講座 8. 助産診断・技術学 II[3], 医学書院
- ・仁志田博司. 新生児学入門, 第3版, 医学書院
- ・日本版救急蘇生ガイドライン 2015 に基づく新生児蘇生法テキスト 改訂第3版
メジカルビュー社

講義スケジュール

日程	時間	講義題目	担当
5月22日(水)	13:30~16:40	正常新生児の生理と観察のポイント	米澤
5月27日(月)	13:00~14:45	正常・ハイリスク新生児の観察とケアのポイント	米澤
6月27日(木)	13:00~16:40	妊婦・褥婦のフィジカルアセスメント	春名・笹川・米澤
6月20日(水)	13:00~16:40	分娩期のケア：PICOによる根拠にもとづくケア	笹川
7月8日(月)	13:00~16:40	新生児蘇生技術(NCPR Bコース)	内藤
7月8日(月)	16:50~18:35	NICUでの児と家族の看護	内藤
7月12日(金)	13:00~16:40	事例による助産計画の展開	笹川
9月27日(金)	13:00~16:40	会陰切開・縫合術・産科救急	春名・笹川・米澤

非常勤講師：内藤梨帆 東京大学医学部附属病院 NICU

f. 助産学VI 修士課程1年前期

目的：助産業務を安全に・円滑に遂行するために必要な助産管理・運営の原理と技法、法的側面についての知識を深め、助産師の社会的役割についての責務を理解する。さらに理論やモデルを踏まえ、助産師の様々な活動の評価、改善のための方策について学ぶ。

参考書：

- ・編集) 厚生労働科学研究 妊娠出産ガイドライン研究班, 科学的根拠に基づく 快適で安全な妊娠出産のためのガイドライン 2013 年版 (第 1 版), 金原出版, 東京.
- ・日本産婦人科学会, 日本産婦人科医会, 産婦人科診療ガイドライン 2017, 日本産婦人科学会出版
- ・助産学講座 10 助産管理 医学書院
- ・日本助産師会刊 「助産所開業マニュアル」
- ・メディカ出版 「周産期管理・看護マニュアルー正常産からハイリスクまで」
- ・愛育病院 「マタニティノート」
- ・藤森敬也, 「胎児心拍数モニタリング講座」改訂 2 版, メディカ出版
- ・村田雄二 (編著), 「周産期の生理学」メディカ出版

講義スケジュール

日程	時間	講義題目	担当
5 月 30 日 (木)	13:00~14:45	クリニカルガイドライン 1 : 妊娠・出産	米澤
6 月 13 日 (木)	13:00~16:40	クリニカルガイドライン 2 : 分娩管理	米澤
6 月 19 日 (水)	13:00~16:40	病院における助産管理	小松
6 月 24 日 (月)	15:15~17:00	助産管理の基本概念とプロセス, 要点と特徴, 法的側面, 医療事故, リスクマネジメント, 実践能力評価	春名
2 月 3 日 (月)	13:00~16:40	助産院における助産管理	岡本

非常勤講師：小松佐紀 総合母子保健センター愛育病院 看護部長
岡本登美子 ウパウパハウス岡本助産院 院長

(4) 大学院実習

1) 助産師教育コース (助産師教育コース課程履修者必修)

a. 助産学管理実習 修士課程 1 年夏期

担当：春名めぐみ, 笹川恵美, 米澤かおり

目的：助産院および病院において助産業務管理の実際を学び, それぞれの施設における助産管理・運営, ケア内容や助産師の役割を比較・検討する. さらに, ケアの受け手から求められるサービス提供のあり方, ケアの受け手とのエンパワーメント, 他職種との連携について, 文献等を用いて考察し, 理論的に考える視点を養う.

期間：令和元年 6 月 19・26 日, 2 月 3~5 日

実習施設：総合母子保健センター愛育病院
ウパウパハウス岡本助産院

実習時間：8:00~16:00

b. 助産学実践実習Ⅰ 修士課程1年夏期～後期

担当：春名めぐみ, 笹川恵美, 疋田直子

目的：妊婦外来・助産師外来において、妊娠の診断および妊娠経過を把握でき、妊娠期を安全に継続するための個別的な助産ケアを計画、実践する方法を学ぶ。また、対象の背景や分娩・産褥・新生児期の経過をふまえ、退院後の生活を視野にいたした予防的な助産ケアを実践、評価する能力を養う。さらに、家庭訪問等の継続的なケアの実施を通し、母子保健医療チームのあり方や、母子とその家族がより健康な経過をたどるための支援方法を学ぶ。症例を通して、対象理解を深め、研究課題を考察していく力を養う。

期間：産褥継続実習 令和元年10月21日～令和2年3月28日

産科外来実習 令和元年7月22日～8月2日, 令和元年9月20日・24日

助産院の妊婦健診・産後ケア 令和2年1月20日～1月31日 うち1週間

実習施設：東京大学医学部附属病院

(女性診療科・産科病棟, 女性診療科・産科外来)

みづき助産院

実習時間：8:15～16:00 (外来8:30～)

c. 助産学実践実習Ⅱ 修士課程1年後期

担当：春名めぐみ, 笹川恵美, 疋田直子, 田原茉理恵, 谷本美保子, 宮本裕子

目的：分娩介助実習において、分娩期を中心とした産婦・褥婦、および胎児・新生児の健康状態をアセスメントし、適切な助産技術を実施するための基礎的な知識・技術・態度を習得し、実践する。さらに、安全、安心、快適、満足なお産の実現に向けた助産ケアの創造のために必要な知識・技術を習得し、継続学習につなげる。

期間：分娩介助実習

病院実習 令和元年7月22日～8月23日

うち4週間

令和元年10月21日～12月27日 うち10週間(2週間の予備を含む)

助産院実習 令和元年10月5日～10月24日

うち1週間

助産院実習 令和2年1月20日～2月1日

うち1週間

実習施設：東京大学医学部附属病院 女性診療科・産科病棟

総合母子保健センター愛育病院 LDR室

ファン助産院

矢島助産院

(5) 博士論文

臼井由利子

The identification of pregnant women with severe fear of childbirth using the Japanese version of the Wijma Delivery Expectancy/Experience Questionnaire: A cross-sectional study

(出産への思い質問票 (日本語版 Wijma Delivery Expectancy/Experience Questionnaire) を使用した出産恐怖感の特定: 横断観察研究)

(6) 修士論文

前島真里子

Factors associated with inadequate maternal weight gain during pregnancy in Japan

(日本における妊娠中の過少な母体体重増加の関連要因)

横山萌莉

Factors related to recovery time of diaper dermatitis in infants: A prospective observational study

(乳児のおむつ皮膚炎の治癒期間に関連する要因: 前向き観察研究)

瀬戸菜月

The association between fear of childbirth and social support through the Internet and Social Networking Services in pregnant women: A cross-sectional study

(妊婦の出産恐怖感とインターネット・SNS等の利用を通じたソーシャルサポートとの関連: 横断研究)

西田梨花子

Factors associated with work engagement among working pregnant women: A cross-sectional study (就労妊婦のワーク・エンゲイジメントに関連する要因: 横断研究)

5. 学内外の活動

(1) 学内の活動・役割

春名めぐみ	化学物質管理担当者 女性休養室管理担当者 男女共同参画委員会委員 医学部倫理委員会 委員 健康総合科学科 教育委員 教職課程・学芸員等部会 委員 教務委員会 委員	平成15年4月～ 平成21年10月～ 平成27年4月～ 平成27年4月～ 平成28年4月～ 平成29年4月～ 令和元年4月～
笹川恵美	倫理指導委員	平成27年4月～

(2) 学外の活動・役割

春名めぐみ	日本母性衛生学会・総務部幹事・専任査読者 編集委員 日本周産期メンタルヘルス学会 理事 日本助産評価機構 第三者教育評価 評価員 日本看護科学学会 和文誌編集長 Nursing and Health Sciences Reviewer International advisory and review board member of Korean Society of Women Health Nursing	平成15年12月～ 平成27年9月～ 平成22年4月～ 平成27年6月～ 令和元年4月～ 平成30年～ 令和元年～
笹川恵美	日本助産学会・専任査読者 全国助産師教育協議会・国際関連活動委員会 委員 日本看護科学学会・査読者	平成29年2月～ 平成29年7月～ 平成30年2月～
米澤かおり	日本母性衛生学会 査読委員 日本助産学会 専任査読委員 日本助産学会 編集委員 日本看護科学学会 和文誌専任査読委員	平成29年9月～ 平成29年4月～ 平成30年4月～ 令和元年10月～

疋田直子

日本助産学会 専任査読者

Japan Journal of Nursing Science Reviewer

Asia / Pacific Island Nursing Journal Reviewer

平成31年～

平成31年～

令和元年～

(3) その他 (学内外における講義・講演など)

春名めぐみ

茨城県立医療大学

博士後期課程審査 外部論文審査員 2020年2月7日 (金)

笹川恵美

「助産学特論X」講師

講義題目：国際母子保健活動の実際 (中南米)

顧みられない熱帯病と母子保健

国際医療福祉大学大学院 2019年5月18日 (土)

笹川恵美

「ウーマンズヘルステ論V」講師

講義題目：助産学特論III 地域母子保健学

東京女子医科大学 2019年9月25日 (土)

6. 教室日誌

2019年	4月 1日	健康総合科学科進学式 看護系教員顔合わせ
	4月 2日	母性看護学・助産学教室 顔合わせ・新入生ガイダンス 助産師教育コース ガイダンス Welcome Lunch
	4月 3日～5月 23日	母性看護学・助産学特論Ⅰ 講義
	4月 4日	専攻ガイダンス
	4月 5日～9月 17日	助産学Ⅰ 講義
	4月 17日～2月 17日	助産学Ⅲ 講義
	5月 9日～7月 5日	助産学Ⅳ 講義・演習
	5月 11日	健康科学・看護学専攻 入試説明会
	5月 16日	令和元年度第1回病院看護部および健康科学・看護学科 看護系教員連絡会議, 東大病院実習打ち合わせ
	5月 22日～9月 27日	助産学Ⅴ 講義
	5月 30日～2月 3日	助産学Ⅵ 講義
	6月 3日～9月 18日	助産学Ⅱ 講義
	6月 19日, 6月 26日	助産学管理実習 (愛育病院)
	7月 22日～8月 2日	助産学実践実習Ⅰ・Ⅱ (東大病院)
	8月 13日～8月 23日	助産学実践実習Ⅱ (愛育病院)
	9月 12日～3月 13日	母性看護学・助産学特論Ⅱ 講義
	9月 26日～10月 31日	母性看護学 講義
	10月 4日～10月 17日	助産学実践実習Ⅱ (矢島助産院)
	10月 19日	櫻蔭同窓会 (東大助産師教育) 総会・講演会・懇親会
	10月 20日	第9回 東大看護研究シンポジウム
	10月 21日～12月 6日	助産学実践実習Ⅱ (東大病院)
	12月 1日～12月 8日	Patrea Andersen 先生来日
	12月 6日	助産学実践実習Ⅱ 実習報告会 (東大病院)
	12月 9日～12月 27日	助産学実践実習Ⅱ (愛育病院)
	12月 12日	神奈川県助産師会 教務部会
	12月 20日	母性看護学学内演習
	12月 24日	助産学実践実習Ⅱ 実習報告会 (愛育病院)
2020年	1月 20日～1月 30日	助産学実践実習Ⅰ (みづき助産院)
	1月 20日～2月 1日	助産学実践実習Ⅱ (ファン助産院)
	1月 23日～1月 24日	修士論文発表会

1月 30日	令和元年度第2回病院看護部および健康科学・看護学科 看護系教員連絡会議
1月 31日	春名めぐみ教授就任記念講演会および祝賀会 (学士会館)
2月 3日～2月 5日	助産学管理実習 (ウパウパハウス岡本助産院)
2月 4日～2月 5日	卒業論文発表会
2月 7日	卒論ガイダンス
2月 10日～2月 21日	母性看護学実習
2月 19日	第2回愛育病院5校合同会議
3月 23日	健康科学・看護学専攻 学位授与式
3月 24日	母性看護学・助産学教室 送別会
3月 25日	専攻看護系送別会

7. 教室員名簿

<2019 年度>

職名	氏名	勤務先 名称・住所
准教授, 教授 2012.4.1~2019.12.31, 2020.1.1~	春名 めぐみ	東京大学大学院 医学系研究科 健康科学・看護学専攻, 母性看護学・助産学分野
助教 2015.4.1~	笹川 恵美	同 上
助教 2016.5.16~	米澤 かおり	同 上
助教, 特任研究員 2017.4.~2020.3	疋田 直子	同 上
非常勤講師 (大学院助産学) 2019.4~2020.3	市橋 香代	東京大学医学部附属病院 精神神経科
非常勤講師 (学部母性看護学) 2018.4~	今井 晶子	恩賜財団母子愛育会総合母子保健センター 愛育病院 〒105-8321 東京都港区芝浦 1-16-10
非常勤講師 (大学院助産学) 2006.4~	井村 真澄	日本赤十字看護大学母性看護学、大学院国際保健助産学 〒150-0012 東京都渋谷区広尾 4-1-3
非常勤講師 (大学院) 2018.4~	大田 えりか	聖路加国際大学 看護学部 〒104-0044 東京都中央区明石町 10-1
非常勤講師 (大学院助産学) 2018.4~	岡本 登美子	ウパウパハウス岡本助産院 〒211-0041 神奈川県川崎市中原区下小田中 1-6-1
非常勤講師 (学部母性看護学) 2018.4~	岡本 行江	埼玉医科大学総合医療センター総合周産期母子医療セン ター 〒350-8550 川越市鴨田 1981 番地
非常勤講師 (大学院助産学) 2013.4~	小笹 由香	東京医科歯科大学医学部附属病院 〒113-8519 東京都文京区湯島 1-5-45
非常勤講師 (大学院助産学) 2018.4~	小松 佐紀	恩賜財団母子愛育会総合母子保健センター 愛育病院 〒105-8321 東京都港区芝浦 1-16-10
非常勤講師 (学部救急処置) 2017.4~	佐藤 智加	東京大学医学部附属病院 救急看護認定看護師
非常勤講師 (学部母性看護学, 大学院助産学) 2013.4~	関口 恵理子	東京大学医学部附属病院 女性診療科・産科
非常勤講師 (大学院) 2019.4~	竹内 文乃	慶應義塾大学 医学部 〒160-8582 東京都新宿区信濃町 35
非常勤講師 (大学院助産学) 2005.4~	対馬 ルリ子	医療法人社団 ウィミンズ・ウェルネス 対馬ルリ子女性ライフクリニック銀座 〒104-0061 東京都中央区銀座 2-6-5 7 階
非常勤講師 (大学院助産学) 2019.4~	内藤 梨帆	東京大学医学部附属病院 NICU
非常勤講師 (大学院助産学) 2005.4~	中根 直子	日本赤十字社医療センター 〒150-0012 東京都渋谷区広尾 4-1-22
非常勤講師 (学部母性看護学) 2013.4~	永松 健	東京大学 医学部 産科婦人科学教室
非常勤講師 (大学院助産学) 2017.4~	中山 敏男	東京大学 医学部 産科婦人科学教室
非常勤講師 (大学院) 2018.4~	福井 トシ子	公益社団法人 日本看護協会 〒150-0001 東京都渋谷区神宮前 5-8-2

非常勤講師 (学部/母性看護学) 2002.10～	三宅 はつえ	もものみ助産院 (出張開業) 〒306-0023 茨城県古河市本町 4-7-1-2-503
非常勤講師 (大学院/助産学) 2019.4～	村上 明美	神奈川県立保健福祉大学 〒238-8522 神奈川県横須賀市平成町 1-10-1
非常勤講師 (大学院/助産学) 2019.4～	安田 貴昭	埼玉医科大学総合医療センターメンタルクリニック 〒350-8550 川越市鴨田 1981 番地
大学院生 (博士3年) 2014.4～2020.3	臼井 由利子	東京大学大学院 医学系研究科 健康科学・看護学専攻, 母性看護学・助産学分野
大学院生 (博士3年) 2014.4～	浅井 百合絵	同 上
大学院生 (博士1年) 2016.4～	清水 咲月	同 上
大学院生 (休学中) 2016.4～	井上 璃子	同 上
大学院生 (休学中) 2017.4～	瀬戸口 舞嘉	同 上
大学院生 (休学中) 2017.4～	中西 愛海	同 上
大学院生 (修士2年) 2018.4～	瀬戸 菜月	同 上
大学院生 (修士2年) 2018.4～2020.3	前島 真里子	同 上
大学院生 (修士2年) 2018.4～2020.3	西田 梨花子	同 上
大学院生 (修士2年) 2018.4～	横山 萌莉	同 上
大学院生 (修士1年) 2019.4～	田口 菜々子	同 上
大学院生 (修士1年) 2019.4～	田中 萌子	同 上
大学院生 (修士1年) 2019.4～	中野 恵子	同 上
大学院生 (修士1年) 2019.4～	西原 菜帆	同 上
大学院生 (修士1年) 2019.4～	村上 芽生	同 上
大学院生 (休学中) 2019.4～	松原 里奈	同 上
客員研究員 2012.4～	堀田 久美	同 上
客員研究員 2015.4～	白石 三恵	同 上
客員研究員 2017.4～	松崎 政代	同 上
客員研究員 2017.4～	南谷 真理子	同 上
客員研究員 2019.4～	島田 三恵子	同 上

事務補佐員 2006.7～2011.7, 2011.10～2016.3 2016.10～	渡部 由美	東京大学大学院 医学系研究科 健康科学・看護学専攻,母性看護学・助産学分野
学術支援職員 (助産実習指導員) 2018.4～2020.3	田原 茉理恵	同 上
学術支援職員 (助産実習指導員) 2019.4～	谷本 美保子	同 上
学術支援職員 (助産実習指導員) 2019.4～	宮本 裕子	同 上

母性看護学・助産学分野年報	第18号
発行年月日:	2020年3月31日
発行責任者:	〒113-0033 東京都文京区本郷7-3-1 東京大学大学院医学系研究科 健康科学・看護学専攻 母性看護学・助産学分野 春名めぐみ Tel & Fax: 03-5841-3396
